

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.118 2004. 7

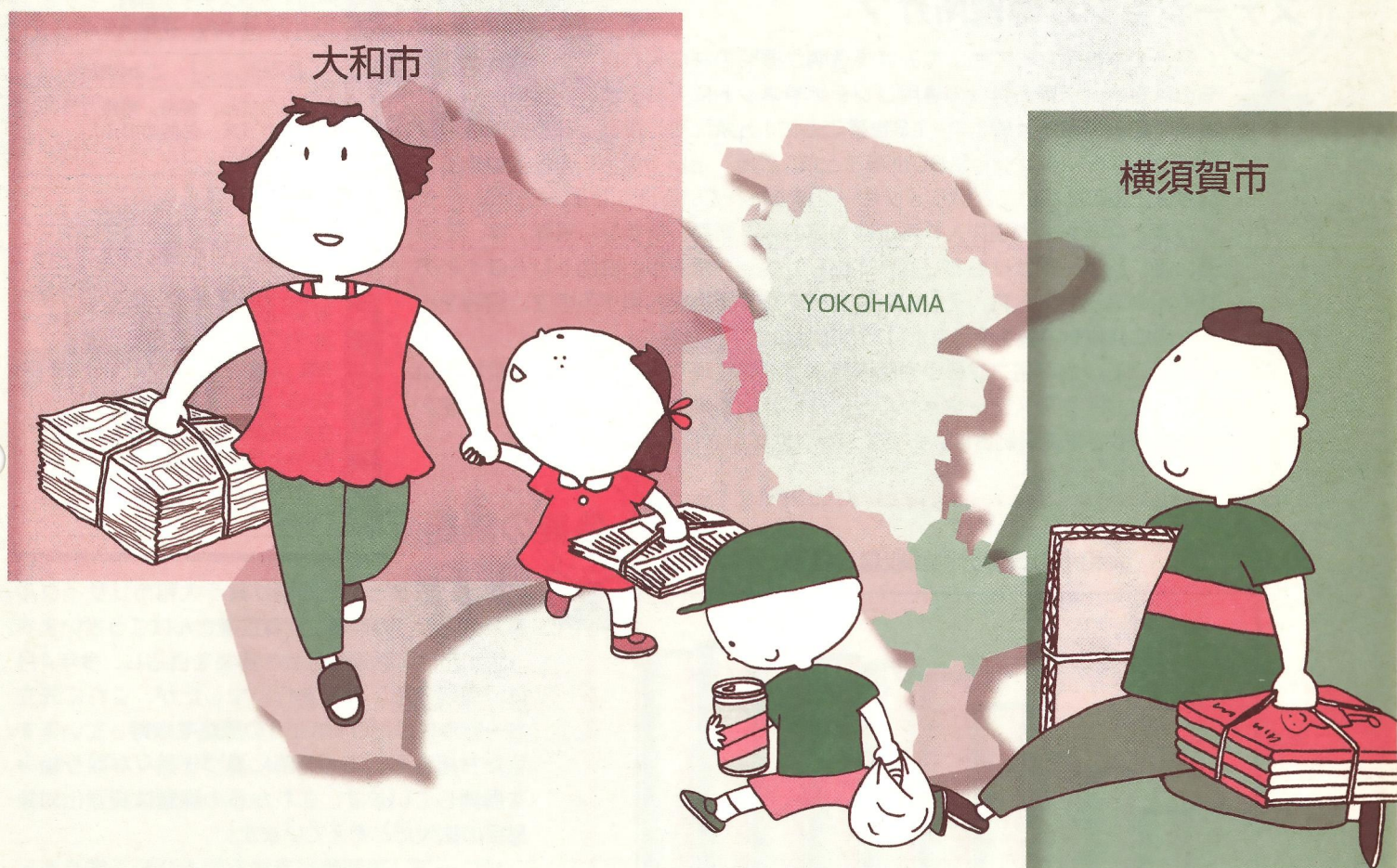
<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメール mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

あの町この町リサイクル探訪記 大和市と横須賀市の場合

よその町ではどうやってるの？



- 教えて、聞かせて 初夏の一日「よこはまG30」をテーマに楽しんだ — P3
- 今月のリサイクルデザイナー — P6
- ただいま子育て奮闘中 オンナは化粧をするべきか？ ・ コラム「リサイクル号とむかし」のぼれ話 — P7
- 今年も環境絵日記募集します ・ 環境絵日記 — P8



横浜市では、10月から6区（南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区、泉区）で、来年度からはいよいよ市内全域で10分別15品目の分別収集が始まります。G30実現のために市民が力を合わせるの必要なこと、と思いつつも、細かな分別がきちんとできるか不安な人も多いのではないのでしょうか。がんばっているのは横浜市民だけではない、ということに目を向けると、今後のやる気に勢いがつくのでは？ そこで、県内ふたつの町の“資源とごみ”に迫ってみました。

大和市

リサイクルは コンテナ・ネット・推進員制度でバッチリ！



細分化の歩み

大和市では、平成3年9月からモデル地区を限定し分別収集を開始しました。5年秋に対象となる地区を増やし、6年6月から市内全域に拡大。11年4月からはペットボトルと紙パックも加え、現在は“6分別13品目の資源物と3分別のごみ”という細かな分別に至っています。地域の拡大や品目の細分化を徐々に進めることで市民の了解と認知を得ることができた例、と言えるでしょう。

ステーションが停留所か？

燃えても燃えなくても、ごみは半透明か透明の袋に入れますが、資源となるものは基本的に備え付けの専用コンテナやネットに入れます。収集場所も、ごみは“ごみ停留所＝約17～18世帯ごとに1ヵ所”で、資源となるものは“リサイクルステーション＝約80世帯ごとに1ヵ所”という具合に分けています。資源はごみではない、というメッセージが表われているようです。

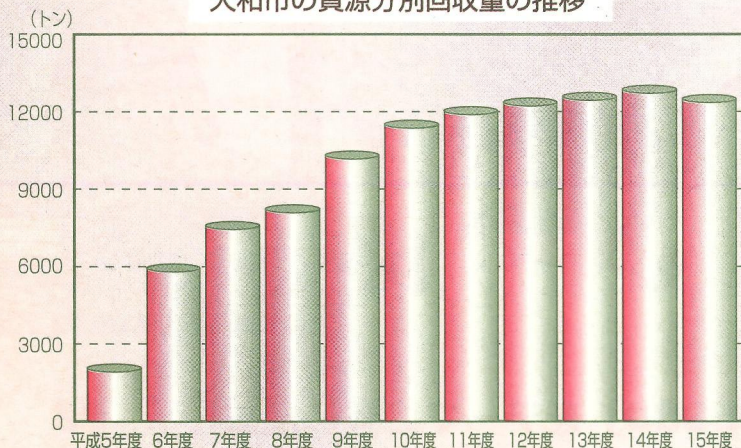
資源となるもので袋に入れるのは布類のみ。新聞、チラシ、雑誌、本、その他の紙、段ボールはひもでしばって出し、ペットボトルと白色トレイはそれぞれ専用のネットに入れ、それ以外はすべてコンテナを利用するので、資源を出すために何枚もの袋を使うことはありません。

さて、その回収用コンテナや回収用ネットの管理や出し方のチェックはというと、リサイクルステーションごとにひとりいる推進員さんが行っています。市が採用する推進員制度は、もうすっかり地域になじんでいるようです。

大和市の場合

	週・月に何回？	どこに出すの？
燃やせるごみ	週2回	ごみ停留所
	生ごみ、剪定枝、紙おむつ、ビニール・プラスチック容器、ビデオテープ、ふとん、革製品など	
燃やせないごみ	月2回	ごみ停留所
	化粧品のびん、食器、耐熱ガラス、割れたガラス、缶詰めのふた、小型家電製品、ゴルフクラブなど	
粗大ごみ	有料・申込み制	
資源分別回収	月2回	リサイクルステーション
	紙類5品目（新聞と折り込みチラシ、段ボール、雑誌・本・その他の紙、紙パック、紙製容器包装）	
	布類（洋服、下着、タオル、シーツなど）	
	空き缶、金物類2品目（アルミとスチール）	
	空きびん類3品目（生きびん、無色透明びん、色付きびん）	
	ペットボトル	
	白色トレイ	

大和市の資源分別回収量の推移



大和市では平成10年に一部地域でペットボトルと紙パックの分別収集を試行（11年4月から本格実施）、白色トレイは13年度から、紙製容器包装は14年度から、それぞれ市内全域で分別収集しています。

大和市の人口約22万人

今後の課題

市から収集と選別を請け負う大和市リサイクル事業協同組合の理事、三森正道さんはこう言います。「大和市は、循環型社会の構築を目指し、今年4月に“環境立市”宣言を行いました。これに先立ち一昨年にはISO14001の認証を取得しています。私たち組合も、市の施策に基づき様々な取り組みを展開しています。これからの課題は資源化対象品目の拡大だと考えています」

リユース（再利用）できる生きびんも集めるといふきめ細かな対応に驚いたら「実は、生きびんは細かく分類すると200種類以上になります。家庭ではビール、日本酒などわかりやすいものにとどめ、選別所で再選別し生きびんを取り出しているんです」とのこと。市民の負担軽減に配慮しつつ、ごみの減量化と資源化に取り組む大和市です。



横須賀市

行政の本気に市民が応えた！

横須賀市は試行期間

わずか3ヵ月から半年の間に市内全域に

細分化が急展開した理由

横須賀市にはごみの最終処分場がありません。このことは、ごみ削減を市民に訴えるための非常に大きな理由付けになりました。平成12年度まで、家庭ごみは基本的に燃えるものと燃えないものの2分別でした。燃えるごみは布類や紙類もすべて含み、燃えないごみにはペットボトルやカン、びんも含まれました。もちろん集団資源回収も併行していましたが、どちらに出しても良いという状態でした。やがて、増え続けるごみに何とか歯止めを、という気運が高まりました。

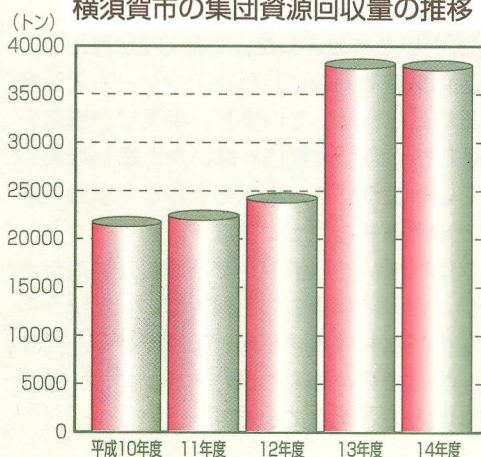


市民の大混乱は1ヵ月

43万市民15万5千世帯のうち、わずか2000世帯が半年から3ヵ月の期間、細分化した分別を試行。13年4月から市内全域で始まった“行政の4分別収集プラス集団資源回収”が招いた混乱は、予想に反したものの1ヵ月でほぼ終息しました。横須賀市資源回収協同組合の理事長、藤田和秀さんは当時を振り返ってこう言います。

「とにかく、行政が本気で取り組んだんです。私も市の職員と一緒に、実施前半ほどあっちこちの自治会や町内会を回ってごみトークという説明会をしました。夜も昼もなく1350回やった。開始した4月には、分別のまちがっている袋に市の職員がバツマークをつけて回りましたが、ひと月の間にその数は15万枚ほど。本当に、彼らはがんばった。その気になればできる、そういうことですよ。そのかいあって、1ヵ月もたつころには落ち着きましたね」

横須賀市の集団資源回収量の推移



横須賀市の人口約43万人

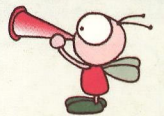
横須賀市の場合

燃えるごみ	週2回 生ごみ、小枝・落ち葉、皮革製品 リサイクル不可紙、紙おむつなど
カン・びん・ペットボトル	週1回
容器包装プラスチック	週1回
不燃ごみ	月2回 陶磁器、ガラス類、ゴム類、 プラスチック類など
粗大ごみ	有料・申込み制
使用済み乾電池	専用の回収箱へ
集団資源回収	月2回以上 町内会や自治会など、地域の実施 団体が決められた日時・場所に出す 紙類5品目（新聞と折り込みチ ラシ、段ボール、雑誌・本、 その他の紙、紙バック） 古着、小布類（古着、タオル、 シャツ、カーテン、毛布など） カン以外の金属2品目 （アルミとスチール）

行政回収と集団資源回収ですべての物、時、地区を網羅

行政が回収する品目と、地域からの依頼で組合が引き受ける集団資源回収の品目に重なりはありません。となると、町内会や自治会のない地域はどうしたらいいのかという問題が生じそうですが、そこを救うのが組合でした。現在、集団回収の地区に属さない家は1軒もないというから驚きです。最小のグループは6軒で、そこには自転車で回収に行っているそうです。さらに、単身者など決められた日時に出すのが難しい人のために、サンデーリサイクルも行っています。市内4カ所を順に回るので、最低でも月に1回は資源となる物を出せるというわけです。

こういったきめ細かな対応のおかげで、横須賀市の集団資源回収量は13年度以降急速な伸びを見せています。





初夏の一日
「よこはまG30」をテーマに

教えて、聞かせて



楽しんだ

5月29,30日の両日、横浜駅東口にある横浜高島屋で西区ごみゼロ推進本部主催「ヨコハマはG30」のイベントが行われ横浜市資源リサイクル事業協同組合も参加しました。この日は朝からよく晴れて気温も上がり、絶好のイベント日和。屋上のイベント会場では11時の開始前から横浜出身のメンバーからなるクレイジーケンバンドが歌うG30のテーマ曲が流され、子ども連れの家族が何ごとが始まるのかと興味津々に見守る中、イベントがスタート！

にぎやかにくり出したイベント ゲームあり、クイズあり、踊りあり

ステージ前の広場で軽井沢中学校の生徒たちによる迫力満点の「野毛山ソーラン節」が披露されました。軽井沢中学校ではごみの分別や、環境に関する



る講座や授業を受けて今回このイベントに参加することになり、お揃いのハッピー姿もりりしく会場を盛り上げます。ステージ脇では横浜市交通局の低公害バスを模した「はまりん号」



が子どもたちの人気の的。長蛇の列を作っています。また反対側には会場となった高島屋から出る食品資源（調理くずや賞味期限切れ商品）をリサイクルして飼料にしたものを食べて育った「アリタさんちの豚肉」の試食を美味しくうにほおぼる姿も見られ、いろいろな方法で環境を守ることがわかります。

我が組合もリサイクルデザインの配布をはじめリサイクルグッズの販売、わかりやすくタメになる「G30 15品目分別体験コーナー」を設置しました。



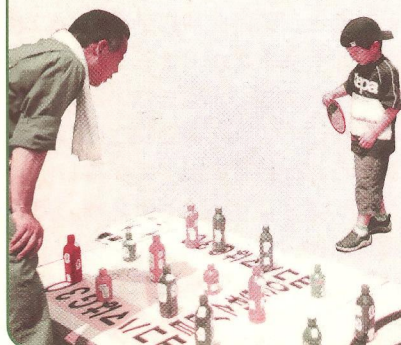
買い物袋に入ったいろいろな資源を15個のボックスの中に仕分けして入れていきます。うまく分別できたかどうかの答え合わせも1品ずつ丁寧に解説つきで教えます。体験した子どもが自分で考え、分別していく様子を見守る親の顔も真剣です。



▲「アタックG30！」は分別にまつわる難問、奇問のクイズショー。さて答えられるかな？

環境事業局の方のおはなし

昨年10月からモデル地区で始まった15品目分別ですが、やはり当初はとまどいもありました。しかし7か月たった現在では非常に順調にきて、家庭ごみも35%減る勢いです。またモデル地区の家庭を対象に行ったアンケートでは各人のリサイクルへの意識が高まっていることと、家庭での工夫がされていることがわかっています。例えばプラスチックはかさばるので週1度の収集では溜めておくのが大変じゃないかと思われましたが、棒状につぶすなどして量を減らしているようです。またモデル地区以外の地域で『早く15品目分別を始めて欲しい』という声もあがっています。



こうしたイベントを通してなぜ分別しなければいけないのかを理解していただき『使えるものを捨てない。ごみを出さない。ごみになるものを買わない』ということを伝えていきたいですね。幼稚園ぐらいの子どもでもきちんと分別できるんです。子ども向けの体験コーナーやゲームが多いのはそのためでもあります。小さい頃から分別することを知る、そこから広がっていかれたらと考えています。

横浜国際総合競技場

(使い捨て)

(再使用)

紙コップからリユースカップへ サッカーを観戦して、 環境保護を考える

洗浄して約50回くり返し
使えるリユースカップ

サッカーワールドカップ決勝戦が行われ、横浜F・マリノスのホームグラウンドである「横浜国際総合競技場」(収容人数7万2千人)では、観客の飲料販売に使用していた紙コップをやめ、再使用可能なリユースカップを取り入れることになりました。(5月25日 記者発表)

カップの大きさは650ミリリットルで、材質はポリプロピレン(プラスチックの一種)熱湯消毒も可能で耐久性に富み、最高50回まで洗浄使用することができます。



左から、中田市長、岡田マリノス監督、岡崎理事長、山口東電神奈川支店長

コップ再使用でごみ減量

横浜国際総合競技場で行われる試合のときに使い捨ての紙コップを使用しないことで、1試合当たり、約180Kg(紙コップ約12,000個)、年間で約3.2トンのごみの削減になります。また、紙コップの製造から廃棄に至るまでに、二酸化炭素(CO₂)

の排出量を年間で約14.7トン減らすことになります。リユースカップに切り替えることは、使用したカップを利用者から返してもらい洗浄し、何回も使うことで「環境負荷」を下げることになります。

リユースカップを導入することで、横浜市が進める「横浜G30プラン」に基づいた、

分別回収、資源ごみのリサイクルと使い捨てのライフスタイルの見直しをアピールし、ごみ削減とCO₂排出量を削減し「環境行動都市横浜」を競技場から発信していきます。

使用開始は8月21日、Jリーグセカンドステージ初戦から

リユースカップの運営組織は、横浜市と市スポーツ振興事業団が(財)地球・人間環境フォーラム(岡崎洋理事長)、横浜マリノス(株)と連携し、計画に賛同した東京電力(株)が加わりました。実施に際しては、上記4

団体と「環境保護に協力したい」とリユースカップへの切り替えに同意した競技場内の売店を運営する11社、そして市民約400名が登録をしている競技場市民ボランティア等から構成される「横浜国際総合競技場リユースカップ協議会」で協議・協

力しながら進めていきます。

さらに、製作したリユースカップは横浜国際総合競技場に限らず、他の施設・イベント会場にも貸し出しをします。横浜国際競技場から、リサイクル、環境保護のウエーブが広がろうとしています。

よこはま白書 モデル地区のごみ分別は大きく前進!!

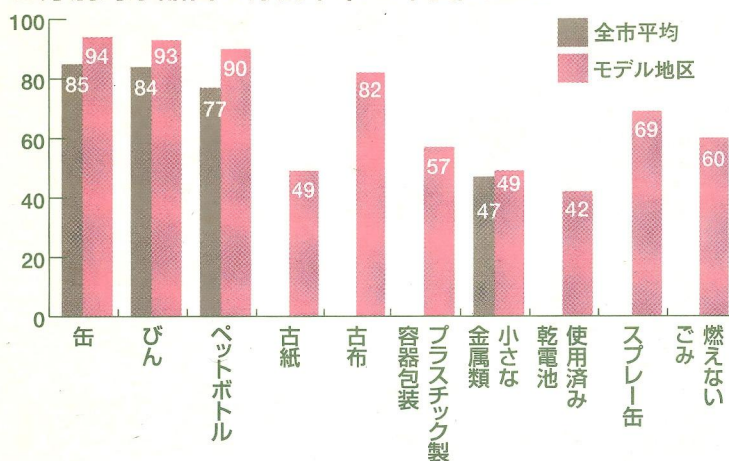
～分別率をサンプル調査～

モデル地区では、分別収集への協力が着実に進んでおり、特に、缶・びん・ペットボトルの分別率は、全市平均に比べ約9～13%向上しました。

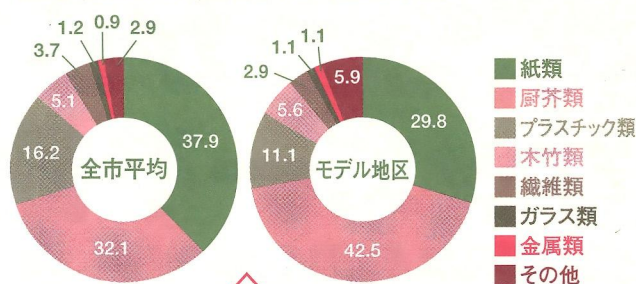
平成15年10月から始まった家庭ごみの分別収集品目拡大のモデル事業は、各区のモデル地区（全市で約4万世帯）で実施されていますが、実施後のごみの組成の変化や各分別対象品目が分別排出された割合（分別率）をサンプル調査しました。全市平均※と比較した結果のデータです。

※全市平均…平成15年夏期にモデル地区以外の地域を対象に実施した調査結果

■分別対象品目の分別率（15年度）単位：%



■家庭ごみの組成（15年度）単位：%



モデル地区では、分別収集品目の拡大により家庭ごみ量が約30～40%減少。ごみ組成では紙類、プラスチック類の割合が大幅に減少し、厨芥類（調理くず、残飯など）の割合が大幅に増加しました。

リサイクル掲示板

センターリサイクル ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

●7月毎週土曜日

・西区 センターリサイクル

環境事業局西事務所

時間：午前9:00～11:30

回収品目

古紙（新聞紙、雑誌、段ボール、紙バック、その他の紙）古着、スプレー缶、プラスチック製容器包装

問い合わせ

環境事業局西事務所 TEL 241-9773

●7月3日（土）

・センターリサイクル inせや

瀬谷区二ツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所 TEL 364-0561

●7月4日・11日（日）

・青葉区 センターリサイクル

環境事業局青葉事務所裏駐車場

時間：午前9:30～12:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、牛乳パック、繊維類、小物金属、リターナブルびん

問い合わせ

環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025

●7月4日（日）

・泉区 センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、古着、古布、毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所 TEL 803-5191

●7月10日・17日（土）

・南区 センターリサイクル

環境事業局南事務所

時間：午前9:30～11:00

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、紙バック、アルミ缶、スチール缶、びん類、プラスチック製容器包装、古布

問い合わせ

環境事業局南事務所 TEL 741-3077

●7月11日（日）

・かながわ センターリサイクル

神奈川区 反町公園（神奈川区役所側）

時間：午前10:00～午後1:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着・古布（肌着、シャツ、タオル類のみ）、白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ TEL 413-3196

●7月17日（土）

・中区 センターリサイクル

①横浜公園日本大通り側

②環境事業局中事務所

時間：午前9:30～11:30

※雨天実施、車で搬入可

（ただし横浜公園内には車の乗り入れはできません。案内人が誘導します。）

回収品目

新聞紙、雑誌、雑紙、段ボール、紙バック、古布、缶、びん、ペットボトル、リターナブルびん、プラスチック製容器包装、スプレー缶

問い合わせ

区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140

●7月18日（日）

・旭区 センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙バック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶、金属くず、プラスチック製容器包装、スプレー缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所 TEL 953-4811



「目的はどんな形であれ達成できる」をモットーに

株式会社 関東古紙商事

取締役 **山口 孝史さん**

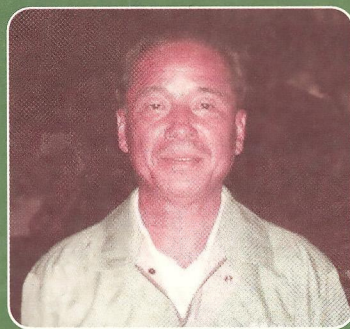
これからの時代を担う社会に役立つ仕事

関東古紙商事は回収業者が集めてきた古紙の束をばらして選別し、新たにプレスして製紙会社に卸すのが仕事です。山口さんがこの会社の母体である三晃紙業駒岡営業所（港北区）に入社したのは20代後半のころ。それまでは高校を卒業してすぐ大田区で姉の仕事を手伝っていたのです。

「姉が事務用品の卸しの仕事をしていたので、10年ほどそこに勤めていました。でもねえ、若気の至りというか、軽い気持ちで、他の仕事もやってみたいなと考

えていたんです。商品点数の多い事務用品の卸しというこまごました仕事も性に合わなかった。そんなとき新聞に載った古紙回収の求人広告を見て『これからの時代を担う会社だ』と直感しました。将来性を感じた・・・というかね。入社してみたら社会に役立つ仕事だってことに気づいたんです」

昭和62年に現在の場所旭区に、ペーラーという紙をプレスする機械を入れ、古紙問屋として有限会社関東古紙商事を設立。今年から株式会社になりました。



プロフィール

1945年（昭和20年）生まれ。茨城県取手市に生まれ、都内荒川区の高校に進む。卒業後に姉の仕事を10年手伝ったのち、今の仕事に転職した。旭区在住。

10代終わりから20代は山登りに夢中

10代の終わりから10年間ほど、山登りに夢中になったことがありました。高校の同級生が亀戸の会社に勤めていたのが縁で、亀戸の山岳会で高校生や大学生が中心の『京葉山の会』に入会したのです。リーダーが熱心な人だったので、常に「より高度な山登りをしよう」と谷川岳（群馬県）などで沢登りをし、ロッククライミングのような岩壁がひさし状に張り出している場所を登ったりしていました。「あのころは山をハードに攻めていたので、仲間同士で『命がいくつあっても足りないな』なんて話していましたね。夏は丹沢や遠野岳で山小屋に水など運ぶ仕事の歩荷（ぽっか）をして鍛えたり、冬は富士山で雪上訓練もしました」

今はもう本格的な山登りはしていない山口さんですが、休みが取れたときにはハイキングで丹沢に出かけることもあるそうです。

「苦しさ乗り越えて頂上に登ったときの達成感と、山を登っていくことで刻々と変わっていく景色が山登りの醍醐味です。いろいろ

登った山の中でも北アルプスの景色が好きですね。岩場の多い山とは違い、自然豊かな

ところが気に入っています。時間があればまた挑戦したいと思いますよ」

これからの古紙の品質管理とリサイクル方法を考える

『目的はどんな形であれ達成できる』というのが山登りで鍛えられた山口さんが仕事に生かしていることです。

昭和50年ごろは古紙の価格変動が激しく先が見えずに大変でしたが、今は少し安定してきて将来の計画を立てることができるようになりました。そこでまずは、今、90%の稼働率を100%に上げていくことを目標にしています。

「たまに欠員が出たときに現場に出ると勉強になりますね。仕事の手順を見直したり、社内の若返りや独自性を持つことで目標達成を目指しています」

来年度から本格的に始まる「ヨコハマG30プラン」では、圧倒的に古紙の収集

量が増えることが目に見えています。そしてそのことによって古紙の原料としての品質が落ちるのではないかと山口さんは危惧しています。

「大量に集められた古紙をうまくリサイクルしていくには、今までのように製紙原料にする以外に建築原料や固形燃料に転用するなどリサイクル方法も考えていかなければならないでしょう。そうした多用途にリサイクルするためにも品質を保たなければ。それにはやはりPRと指導が大切でしょうね」

一歩一歩、山を登っていくように着実に目標に向かっていく姿勢が印象的でした。

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレトペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい！愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレトペーパーだと大丈夫なの」（実話です）。

トイレトペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレトペーパー



★使ってびっくり

びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレトペーパー（シングルで60m）の2倍以上の長さ（130m）です。「使っても使ってもなくなるんですね」との声も寄せられるほど（もちろんいつかはなくなるけど）。

注文受付は1ケース（48コ入=6コ入りバック×8）より1ケース 3,528円（消費税・配送料込み）

※振込料はお客様のご負担でお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！（横浜市の支出命令書も使えます）

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

シングル芯なし130メートル1パック（6ロール）あたり価格420円

オンナは化粧をするべきか？

なぜ女性化粧をするのか？

「男って化粧しないんでしょ？」
先日、4歳半の息子がトツゼンこんなことを言いました。また幼稚園で刷り込まれたステレオタイプの女性蔑視発言か？！と思ったけど、とりあえず「ママは女だけど、してないじゃん」と答えておきました。実際、多くのママたちは化粧をしているので、あまり得心がいかないようでしたが。

それにしても、なぜ女性は化粧をするのでしょうか？男性もする人はいますが、数の上では女性に及ばないし、女性が化粧するというのは、一種の常識になっているようです。

朝、子どもにご飯を食べさせ、お弁当を作り、幼稚園へ送って行くという日常の業務の合間に、ほとんどのお母さんは「化粧」という作業が入っているなんて、朝からよくやるな〜と感心します。なかにはホント

にしっかりメイクで、近くで見ると顔がラメラメに光ってる人もいたりします。

化粧しなくてゴメンね

朝日新聞（2004年5月8日）によると、おしゃれに関心のある女性の多くは「他人に嫌悪感を与えたくない」と思っているんだそうです。何に嫌悪感を抱くかなんて人によって違うだろうから、万人にウケる化粧なんてあり得ないと思うんだけど。電車の中で化粧するのも、他人に嫌悪感を与えないため？

私は今日まで、結婚式などのハレの日は別として、ほとんど日常的に化粧をせずに過ごしてきました。ズボラなせいもあるけど、主たる理由は健康に悪いからです。

多くの化粧品には、発ガン性・催奇性のある物質や環境ホルモンが含まれています。最近では、メイク落としが目に入って角膜を損傷したなんていうケースもあるそうです（日本消費者連盟『消費者リポート』第1261号）。



そんなアブナイものを毎日顔にすり込むのは、とっても健康に悪いでしょう。第一、お肌（女性がとっても関心を持っている！）に悪いじゃないですか。お化粧するほど肌が綺麗になった人って、見たことありますか？

私は化粧しただけじゃなく服装にも構わないので、私を見て嫌悪感を感じる人が大勢いるかもしれませんが、自分の健康の方が大事なので、申し訳ないけど今日私は化粧をせずに幼稚園のお迎えに行こうと思います。悪く思わないでね。



着物はふとん代わり

江戸時代のなかばまで、ふとんといえば敷き布団をさしました。しかもゴザなどで代用することも多く、上も下もふかふかという現在のような形が整い始めたのは、江戸時代後期のこと。掛け布団のかわりに長い間使われていたのが、たけのある女物の着物でした。辞書をひくと「近世の上流婦人の上着」とある「打ちかけ」は花嫁衣装の代名詞でもあります。これは、両親から娘夫婦に贈る婚礼布団としての役割もになっていました。木綿も絹も真綿も貴重だった時代の、合理的なアイデアです。ヨーロッパでも、長いすそをひきずるウエディングドレスはかつて同じ役割でした。干し草の上で寝る子どもへの結婚の祝いに、掛け布団として使える長いドレスを贈ったのが始まりだったそうです。



このコラムでは、月刊リサイクルデザインの別冊として発行した「リサイクル 今とむかし」に掲載しきれなかった「ことば話」を連載します。

今年も環境絵日記募集します



テーマ 今回の環境絵日記のテーマは、
「私の考える地球を救う3か条」



今年も小学生のみさんから
環境絵日記を募集します。

メインテーマは

みんな 集まれ、エコレンジャー
みなさんからの応募お待ちしております。

地球を救う
3か条その1

1. リデュースレンジャー (reduce 発生抑制)

・リデュースレンジャーは「ごみを買わない、ごみを作らない」

解説:リデュースとは、「減らす」という意味です。買い物するときや食事のときなどでの、ごみを減らすアイデアを描いて下さい。

地球を救う
3か条その2

2. リユースレンジャー (reuse 再使用)

・リユースレンジャーは「もったいないから、くりかえし使う」

解説:リユースとは「くり返し使う」という意味です。一度使ったものを
ごみにしないで何度も使うようにするアイデアを描いて下さい。

地球を救う
3か条その3

3. リサイクルレンジャー (recycle 再資源化)

・リサイクルレンジャーは「分別して、資源にもどす」

解説:リサイクルとは使い終わったものをもう一度「資源にもどす」という意味です。いらなくなったものをごみにしないで原料として再利用するためのアイデアを描いて下さい。
(分別のアイデアでも結構です。)

- 配布開始 7月1日(木)
- しめ切り 9月10日(金) 当日消印有効
- 審査結果の発表 10月19日開催の「リサイクルデザインフォーラム」にて発表

環境絵日記へのお問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050

FAX 045-316-6050

mail@recycledesign.or.jp

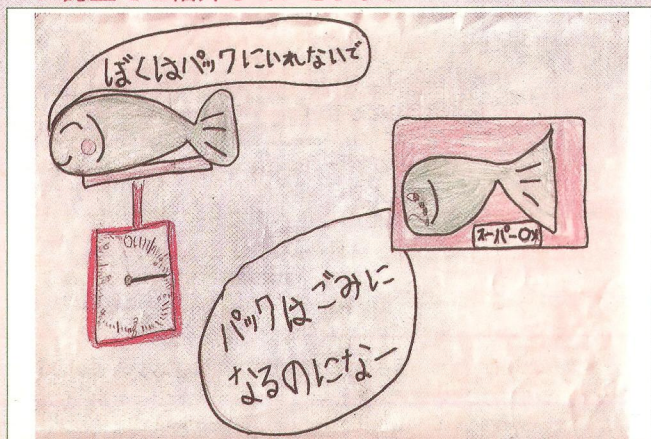
7月9日からは下記の電話・FAXになります

TEL 045-444-2531

FAX 045-444-2533

環境絵日記

2003年第9回リサイクルデザインフォーラムの
環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン
誌上でご紹介していきます。



つるがみね小学校1年 おやははるか
8月28日もく曜日 天気はのぞき
おかいものにいったら、しよく
ひんはみんなパックにはいつて
ました。
パックにしないではかりうりし
たほうがごみはへるとおもいます。
あとみせのひとともなかく
なれるとおもいます。
はかりうりならじぶんのほしい
ぶんだけかえるからむだになら
ないし、ざんぱんもへるとおも
います。はかりうりしてくる
ふくろをちいさいごみにつかえ
るとおもいます。すーぱーでつ
かうおきなふくろをごみのふ
くろにしたらいとおもいます。

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ

1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター
申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合

電話 045-316-4050/FAX 045-316-6050

Eメール mail@recycledesign.or.jp

●参加資格・条件

1. 横浜市内にお住まいの個人および団体(資源集団回収実施団体・市民団体など)の方
2. 私たちの活動をご理解、ご支援していただける方
3. ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
4. 脱退は原則自由です
5. 入会金や年会費はありません

7月9日からは下記の電話・FAXになります

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2533



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2004年5月現在
日経 5/27

品名	買入価格 1キロ当たり	業者の売値 1キロ当たり
新聞	*** 0円	5~5.5円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

*集団回収には「買入価格」を適用 **有料

有料の場合あり *スチール缶と選別済の価格

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす(250kgで)にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

いよいよ関東も梅雨に入りました。梅雨が終われば待ちに待った夏休み。夏休みといえ、そう、環境給日記です。今年もたくさんの子供たちが給日記を書いてほしいと願っています。(詳細は8ページ)子どもの目からみた環境問題、ご問題、結構感心させられることばかりです。

編集室から

リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物(古紙・空き缶等)がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。



詳しいことは

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-316-4050
FAX 045-316-6050

「リサイクル今とむかし」リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊『リサイクル 今とむかし』を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

好評発売中!



※グリーンバザール(南区六ツ川)に置いてあります

価格 **350円** (税込)
フルカラー24頁
※送料は別料金になります

事務所移転のお知らせ

7月9日(金)から事務所移転に伴い、月刊リサイクルデザイン編集室の住所及び電話・FAX番号が変わります。

新住所は

〒221-0054

横浜市神奈川区山内町13番地

電話 045-444-2531

FAX 045-444-2533 (編集室)

e-mail: mail@recycledesign.or.jp

(変更ありません)

これからもよろしくお付き合い下さいますようお願いいたします。

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●ブックショップふれあい戸塚店(ダイエー横)・大船店 ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ●マイカル天王町サティ店 ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●カフェ社(港北区日吉) ●きまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●横浜国際ホテル(西区南幸) ●さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生協同組合大学会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町) ●リセールショップ遊眠

月刊 リサイクルデザイン No.118

発行日: 2004年6月25日

発行人: 秋元康男

編集人: 工藤健一

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

制作: (企) エコ・アド

印刷: (株) 横浜プリント

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

